

チーム名	ひまわり組	大学名・学部	慶應義塾大学・文学部	福島復興ステージ
プラン名称	大熊留学～Innovation-From-Okuma Camp～			
リーダー名	中野春花	メンバー名	田中萌夏、露崎理恵、柿崎祐太郎、福永詩葉	
指導教職員名	近森高明			

大熊町分析

Before 震災



人口:1万1500人
原発産業で経済は潤う

After 震災



0から今後の社会
を見据えた
活動をしている

居住者数:400人
町民の約96%が県外へ
約8年間人が住めなかった。



大熊に集まった、
ルーツの異なる人々を
つなげる場所を作りたい!



人的被害が起きた大熊を起点に
日本の教育を変えたい!



風評被害に苦しむ大熊で
あえて農業にチャレンジし
日本中の人々が視察に来るような
最先端農業を進めたい!



地元に愛されていたキウイを
起点に「キウイ×大熊」で
ビッグなコミュニティづくりを!

大熊でしか成し遂げられないという
熱い思いを持った人たちが、
新しいことに挑戦している地域

私たちの想い

原発によって一度リセットされた大熊を訪れて、
ゼロからイチが生み出される瞬間に見える
未来にワクワクしてほしい

課題解決施策

大熊留学

～Innovation-From-Okuma Camp～
「夏休み1週間の留学プログラム」

キウイジューススタンド

アメリカで行われる「レモネードスタンド」のキウイバージョン。
キウイジュースを夏祭りで、販売戦略立てて実際に販売する。
3チーム対抗で売り上げを競う。

大熊チャレンジ動画

大熊という町でチャレンジ動画を作成し、
大熊コミュニティに毎日投稿!!
チャレンジする人が多い街で、実際に自分たち
も毎日チャレンジをする体験ができる。
最終的には大熊の広報に採用されるかも?

聞き書き大会

運営側から選定されたまちびとの
「ことば」から話を聞きたい人を選び、
インタビュー&文字起こしを行う。
チームごとにまちびとのプレゼンを行い、
一番会いたいと思わせたチームが勝ち!

プラン詳細 ☆この1週間は任意で組まれた6人のグループで活動する

DAY1	DAY2	DAY3	DAY4	DAY5	DAY6	DAY7
大熊を楽しむ	大熊の過去/外を見る	大熊の未来を見る	大熊を深く知る	大熊をアウトプット	大熊を発信する	振り返る
	福島の震災を知る 伝承館 請戸小学校	キウイ再生クラブ	聞き書き大会 インタビュー選定 &インタビュー	聞き書き大会	夏祭り準備	動画準備
大熊の特産品 NEXUSファーム & オリエン テーション	大熊町外まで遠出 浪江町など 復興が進む町へ	キウイ再生クラブ プラン計画タイム	聞き書き大会準備	動画準備	夏祭り参加	フェアウェル パーティー
			キウイ準備	キウイ準備		

コアターゲット

人生の分岐点にいる高校1年生

- ①大学生や社会人になる前に大熊を知ってもらい、若いうちから大熊へ
- ②子どもから大人になる過渡期、進路の分岐点を迎える時期 高校生に、明るい未来を描く大熊へ

選択コンテンツ

大熊:交流ゾーン
キウイ再生クラブ
ネクサスファームおおくま
双葉町:復興祈念公園、伝承館
浪江町:請戸小学校/夏祭り

新規性

- ・大熊町でターゲットを「高校生」に
- ・大熊町で 国内留学プラン
- ・キウイ再生クラブのコンテンツ化
- ・「0→1」という 現代求められている新価値がコンセプト
- ・ハード面<ソフト面の魅力発信

実現計画

- ・ほっと大熊: 宿泊施設 了 承済み
- ・ネクサスファームおおくま: 訪問計画 了 承済み
- ・キウイ再生クラブ: 企画 了 承済み
- ・linkる大熊: 場所提供 了 承済み
- ・夏祭りに参加: 参加事例あり (キウイ再生クラブ許可)

大熊への効果/経済効果

「高校生の成長」と「地域の成長」とが重なり合うなかで、学生が大熊の隠れた魅力に気づき、長期的に関わってくれる大熊へ親しみを持つ若者が育ってゆくと見込まれる。以上より、①大熊町の関係人口が増加するのに加え、②大熊にプレイヤーとしてかかわる若者の増加、③大熊のさらなるPRが見込まれる。

1回の留学で約180万円の経済効果!

消費項目	消費額
参加費	1,260,000円
交通費	168,000円
雑費	437,900円